

新講座スタート!

知って楽しい! クラシック音楽講座

モーツァルトやベートーヴェンなど多くの有名な作曲家たちは、どのような世界で、どのような人々と出会い、音楽を生み出してきたのでしょうか。

この講座では、作曲家たちが生きた時代について学び、音に隠された裏事情を深掘りすることで、クラシックコンサートの新たな楽しみ方を発見します。

第1回「ウィーンに巻き起こったロッシェニ旋風」

～神戸市室内管弦楽団 第172回定期演奏会「イタリア紀行」関連企画～

シューベルトが交響曲第6番を作曲した頃、ウィーンではロッシェニ旋風が巻き起こっていました。つまり、イタリアから遠く離れたウィーンで、イタリア人作曲家ロッシェニの作品が大人気だったそうです。では、それはいったい、どんな状況だったのでしょうか?この、私たちが持つ素朴な疑問を、当時の新聞を読みながら、具体的に解き明かしたいと思います。インターネットはもちろん、テレビラジオもなかった時代、どんなふうに入々が異国の音楽に熱狂していたのか。ウィーンの姿の実際を、一緒に探りましょう!

4/12 (日) 10:00 ~ 11:30

神戸市立中央区文化センター

多目的ルーム (1階)

【講師】小石かつら (関西学院大学文学部教授)

※やむを得ない事情により、講師と開催時間を当初の予定から変更いたしました。

〈受講料〉

一般 1,200円 (税込)

神戸市室内管弦楽団 第172回定期演奏会「イタリア紀行」の
チケットをお持ちの方 500円 (税込)

〈お申込み・お問い合わせ〉

神戸市立中央区文化センター

078-381-7899 (受付時間 9:00~17:00)

〈WEB申込み〉

<https://forms.gle/pVt4aRi3nwxMUtSm6>



申込み受付中!



小石かつら Koishi Katsura

京都生まれ。京都市立芸術大学大学院でピアノを、ライプツィヒ大学、ベルリン工科大学、大阪大学大学院文学研究科で音楽学を学ぶ。博士(文学)。専門は19世紀西洋音楽史。とりわけ近代のオーケストラ演奏会の成立と変遷の解明を課題として、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のプログラムを調査している。京都大学白眉センターを経て、現在、関西学院大学文学部教授。

第172回定期演奏会「イタリア紀行」

5/16 (土) 15:00 開演

神戸文化ホール 大ホール

指揮: 鈴木秀美

チェロ: タマーシュ・ヴァルガ



神戸市立中央区文化センター

〒650-0031 神戸市中央区東町115番地

JR・阪急・阪神・市営地下鉄西神・山手線「三宮駅」から徒歩6分

※定員 80名 ※受講料は当日会場でのお支払いとなります。(現金のみ)

※講座終了後、第172回定期演奏会のチケットを1割引で販売いたします。

[主催] 神戸市立中央区文化センター、(公財)神戸市民文化振興財団